

教科名	国語	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書:現代の国語 2(三省堂) ・学習漢字ノート(浜島書店)</li> <li>・新・基礎の学習(新学社) ・すらすら基本文法(浜島書店) ・読み方レスキュー(正進社)</li> </ul>			
国語の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習漢字に加えて、新出漢字を正しく読んだり書いたりして、意味を理解することができる。</li> <li>・言葉遣いや語句、文法などの表現を理解し、語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・目的に応じて楷書や行書を書いたり、それに調和した仮名を書いたりすることができる。</li> <li>・古典の仮名遣いや漢文の読み方を理解することができる。</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習漢字に加えて、新出漢字を読んだり書いたりして、文章の中で適切に使うことができる。</li> <li>・文学的な文章や古典を朗読し、登場人物や作者の思いを想像することができる。</li> <li>・説明的文章の構成を理解し、筆者の主張を捉えることができる。</li> <li>・立場や考えの違いをふまえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手を尊重して話し合ったりすることができる。</li> <li>・構成を工夫して、分かりやすく表現することができる。</li> <li>・文章の内容や表現に注意して、読むことができる。</li> </ul>			
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面、意図に応じて積極的に話す、聞く、書く、読む活動に取り組み、考えをまとめたり広げようとする。</li> <li>・読書を生活に役立てようとする。</li> <li>・広い範囲から情報を集め、効果的に活用することができる。</li> </ul>			
学習の 進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名されていなくても自分から考えようとする心掛け、話す・聞く・書く・読む活動に積極的に取り組もう。</li> <li>・授業中の発表では、伝え合うことを意識して、工夫して話し合おう。</li> <li>・単元ごとにプリントを活用し、読解の充実を図ろう。</li> <li>・文法の学習内容はワークを活用し、書き込みをしたり、繰り返し復習をしたりしよう。</li> <li>・授業中は考えながらノートを取り、必要に応じて自発的に書き込んだり、色ペンを使ったりするなどの工夫をして、復習に活用できるようにしよう。</li> <li>・漢字テストや小テストなど、授業での重要なポイントの復習を中心に、基礎学力を定着させよう。</li> </ul>			
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題(漢字プリント・意味調べ・本読み・作文など)は必ずしよう。</li> <li>・小テストの前には、自分でテストをするなど、工夫して復習しよう。</li> <li>・新聞や本などを読んで、読書に親しみ、生活に役立てよう。</li> </ul>			
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きや語句の意味、さらに文法や表現、文学史の知識など、覚えたことを確認しよう。</li> <li>・ワーク(漢字、文法など)やプリントを繰り返し解こう。</li> <li>・ノートやプリントで、授業の重要なポイントを確認して覚えよう。</li> <li>・プリントや授業での記述(書く)問題は、もう一度自分でやってみて、すらすら書けるようにしておこう。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークやプリントは、自分の力で取り組み、きちんと答え合わせをしよう。また、プリントをなくすと復習できなくなるので、大切にしよう。</li> <li>・文法は積み重ねの学習なので、苦手なところはもう一度ふり返って復習しよう。</li> </ul>				

国語科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価											
			評価の観点	評価の場面・方法										
名づけられた葉	詩歌	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を区別して、話すことや聞くこと、書くことができる。</li> <li>・さまざまな文章に応じた読み取りができる。</li> <li>・言葉の特徴やきまりを理解することができる。</li> <li>・さまざまな古典について知る。</li> <li>・さまざまな表現技法を理解し、使うことができる。</li> <li>・整った楷書を書くことと、行書の基礎を理解して、書くことができる。</li> <li>・漢字の読み書きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> <li>・漢字テスト</li> </ul>									
セミロングホームルーム	文学的文章													
敬語の意味と種類	言語													
グループディスカッション	話す・聞く													
人間は他の星に住むことができるのか	説明的文章													
手紙・メール	書く													
短歌の世界・短歌十首	短歌													
言葉のはたらきとコミュニケーション	言語													
用言の活用(動詞)	文法													
壁に残された伝言	説明的文章													
硬筆書写	書写													
100年後の水を守る	評論	9				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面にに応じて話し合いをすることができる。</li> <li>・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。</li> <li>・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。</li> <li>・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝えるように話したり、考えながら聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> </ul>						
用言の活用(形・形動詞)	文法													
プレゼンテーション	話す・聞く													
枕草子・徒然草	古典													
平家物語	古典	10	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面にに応じて話し合いをすることができる。</li> <li>・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。</li> <li>・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。</li> <li>・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝えるように話したり、考えながら聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> </ul>									
漢詩の世界	古典													
熟語の構成・熟字訓	漢字													
共生社会に関するデータ	情報	11							思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面にに応じて話し合いをすることができる。</li> <li>・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。</li> <li>・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。</li> <li>・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝えるように話したり、考えながら聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> </ul>			
自立とは「依存先を増やすこと」	情報													
助動詞のはたらき	文法													
大阿蘇	詩歌	12										思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面にに応じて話し合いをすることができる。</li> <li>・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。</li> <li>・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。</li> <li>・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝えるように話したり、考えながら聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・作文</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ノート</li> </ul>
小さな手袋	文学的文章													
類義語・対義語・多義語	言語													
投稿文	書く	1				主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって学習に取り組む。</li> <li>・積極的に授業に取り組み、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・宿題などの提出物</li> </ul>						
毛筆書写	書写													
動物園でできること	評論													
熟語の読み	漢字	2	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって学習に取り組む。</li> <li>・積極的に授業に取り組み、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・宿題などの提出物</li> </ul>									
論説文	書く													
走れメロス	文学的文章													
創作文	書く	3							主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって学習に取り組む。</li> <li>・積極的に授業に取り組み、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子</li> <li>・宿題などの提出物</li> </ul>			
助詞のはたらき	文法													
情報誌	話す・聞く・書く													

教科	社会	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		社会科中学生の地理 (帝国書院) 新しい社会 歴史 (東京書籍) 社会の自主学習 (地理・歴史1) 社会の自主学習 (地理・歴史2)トラスト 地理資料集 2021 積み上げ歴史 つながる歴史 ファイル			
社会の学習で 目指すこと	知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につける。獲得した知識を使ってレポートなどを作成する			
	思考力 判断力 表現力	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。			
	主体的に 学習に取り組む 態度	自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて主体的に取り組む。定期テスト等では結果に一喜一憂するのではなく、自分の得意不得意を冷静に見極めて自分自身で調整しながら学習を進めていく。			
学習の 進め方	授業 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワーク・デジタル教科書を中心に学習を進めます。</li> <li>視聴覚教材の活用で、写真や動画を活用します。</li> <li>知識が定着するように、小テストを行うこともあります。</li> <li>授業では、板書を写すだけでなく自分なりにわかりやすいノートづくりをしましょう。</li> <li>提出物は締切を守りましょう。また、きちんとできているか確認して提出する。</li> <li>締め切り後の提出・再提出は受け付けません。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用して授業を行います。小テストは PCやプリントを使用することがあります。</li> <li>ICT機器やグループでの話し合いなどを通して知識理解を深めたり、表現力を高めていきます。</li> <li>調べ学習やレポート作成に取り組めます。</li> </ul>			
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>Googleクラスルーム、ミライシード (オクリンク)を活用して学習に取り組めます。</li> <li>テレビや新聞などで学習内容に関連する情報をつかんでおくことも大切です。</li> <li>社会の動きに関心を持つと理解が深まります</li> <li>自主学習ノートを活用した学習を行いましょう。</li> </ul>			
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学習したことを中心に、教科書や地図帳、資料集などから出題します。</li> <li>単に事項を暗記するだけでなく、知識の活用ができるように問題集などに取り組みましょう。</li> </ul>			
学習上の 注意	社会は暗記科目ととらえられがちですが、知識量だけでなく提示された資料を活用したり、データを読み取ったり歴史的資料からわかることを記述したりするなど総合的に問われる問題が高校入試等でも多く出題されます。ふだんから『この資料から何がわかるのだろうか』『どうしてこのような結論になるのか』など知識の活用を意識して生活を送ることも大切です。また、自宅でも時事問題について話し合ったりして、内容を深めておくことも大切です。				

社会科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
第2章 古代までの日本	3節 平安京と律令国家の変化～	4	知識・技能	日本の国土や世界の諸地域について地域の諸事情や地域的特色を理解している。	定期テスト等において、事実的な知識を問う問題や概念的な理解を問う問題などで評価する。
第3章 中世の日本	1節 武士の政権の成立				
	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	5	知識・技能	調査や諸資料から地理に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている。	文章などでの説明や学んだ知識を活かす場面を設けてそのことについて評価する。
※ 2節終了後、地理的分野に入ります。					
第3部 日本のさまざまな地域	第1章 身近な地域の調査	6	知識・技能	日本の歴史について世界史を背景にそれぞれの時代の特徴を踏まえて理解している。	文章などでの説明や学んだ知識を活かす場面を設けてそのことについて評価する。
	第2章 日本の地域的特色				
	第3章 日本の諸地域	7	知識・技能	調査や諸資料から歴史に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている。	文章などでの説明や学んだ知識を活かす場面を設けてそのことについて評価する。
	第1節 九州地方				
	第2節 中国・四国地方	9	思考力・判断力・表現力	地理に関わる事象の意味や意義などについて地理的観点から多目的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けての公正に判断したりその結果を他者に説明したり議論したりすることができる。	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする。
	第3節 近畿地方				
	第4節 中部地方	10	思考力・判断力・表現力	歴史に関わる事象の意味や意義などについて歴史的観点から多目的・多角的に考察したり、歴史的課題の把握したり公正に選択してその結果を他者に説明したり議論したりすることができる。	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする。
	第6節 東北地方				
	第7節 北海道地方	11	思考力・判断力・表現力	調査や諸資料から地理に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている。	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする。
※ 7節終了後、歴史的分野に戻ります。					
第4章 近世の日本	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	12	思考力・判断力・表現力	地理に関わる事象の意味や意義などについて地理的観点から多目的・多角的に考察したり、地理的課題の把握したり公正に判断したりその結果を他者に説明したり議論したりすることができる。	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする。
	2節 江戸幕府の成立と対外政策				
	3節 産業の発達と幕府政治の動き	1	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象についてよりよい社会の実現にむけての視野を持って主体的に追究、解決しようとしている。	ノートやレポートによる記述や授業における行動観察、生徒による自己評価を考慮して評価する。生徒の自己評価をもとに自らが自分の課題に気づき修正してできるようになるまで取り組んでいるかについても評価を行う。
第5章 開国と近代日本の歩み	1節 欧米における近代化の進展	2		調査や諸資料から歴史に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている。	
	2節 欧米の進出と日本の開国				
	3節 明治維新	3	歴史に関わる諸事象について、主体的に歴史から学びよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		

教科名	数学	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	「未来へひろがる 数学2」(啓林館) 「数学の問題ノート」(新学社)				
数学の学習で 目指すこと	知識・技能	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。			
	思考力 判断力 表現力	事象を数理的に考察する力や図形において論理的に考察し、表現する力、データを読み取り、考察し、判断する力を養う。			
	主体的に 学習に取り組む 態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。			
学習の 進め方	授業 について	大数学 なこと	1 意欲的に授業に参加する姿勢をもつこと 2 基本的な知識を習得すること 3 正確に計算できる力をつけること 4 考え工夫してみようとする姿勢をもつこと		
		授業 の受け方	1 先生や仲間の話をしっかり聞こう。 2 ノートをしっかり書こう。 3 とにかくやってみよう。 4 間違えたところは、なぜ間違えたかを考えよう。 5 積極的に発表しよう。 6 グループ活動で課題を解決しよう。		
	家庭 学習	1 その日のうちにノートを見直そう。 ・授業でやった問題をもう一度やってみよう。 2 宿題とワークをやろう。 ・宿題は、必ずその日のうちにやろう。 ・習ったところのワークを少しずつ進めておこう。			
定期 テスト	1 教科書やワークの問題を何度も繰り返してやろう。 ・教科書の例題をやり直そう。 ・ワークは日頃から進めておき、わからなかった部分や間違えた問題を、もう一度確認しよう。 ・ノートに書かれたポイントを確認し直そう。 2 わからないところは、先生や友達に聞いてわかるようにしよう。 3 テストでは見直しをしっかりしよう。 4 テストは保管し、間違えた問題はやり直しておこう。				
学習上の 注意	・授業中は集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組もう。 ・授業のノートは、途中の計算や考え方を書いたり、大事なと思ったことを自分の言葉でまとめたり、線を引いて見易くするなど工夫をしよう。 ・答えより解法の途中経過を大切にしよう。 ・自分の考えはどんどん発表しよう。 ・わからないところは、早いうちに先生に質問しよう。 ・「わかる」→「できる」を目指して、たくさんの演習問題を解いてみよう。 ・グループ活動で課題解決を進めていこう。 ・提出物はすべて期日を守って提出しよう。				

## 数学科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価			
			評価の観点	評価の場面・方法		
1章 式の計算	1節 式の計算	4	知識・技能	・基礎的な事柄や公式を理解している。	・授業中の取り組み	
	2節 文字式の利用			・定期テスト		
2章 連立方程式	章末問題	5		・解き方を理解し、数学的に計算や作図の処理ができる。	・振り返りシート	
	1節 連立方程式			6	・事象を数学的にとらえ、式や表、グラフ、図形などで表現できる。	・小テスト
2節 連立方程式の利用	・発言					
章末問題						
3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ	7		思考力・判断力・表現力	・文章問題を読み取り、気付いたことや自分の見方や考え方を表現できる。	・授業中の取り組み
	2節 一次関数と方程式				・定期テスト	
	3節 一次関数の利用	9			・身の周りの事象について、数学的な見方や考え方ができる。	・振り返りシート
					章末問題	・小テスト
4章 図形の調べ方	1節 平行と合同	10	・データを読み取り、批判的に考えることによって、的確に判断することができる。		・発言	
	2節 証明					
	章末問題					
5章 図形の性質と証明	1節 三角形	11	主体的に学習に取り組む態度		・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。	・授業中の取り組み
	2節 四角形				・定期テスト	
	章末問題	12			・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。	・振り返りシート
6章 場合の数と確率	1			・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。	・小テスト	
		2		・発言		
7章 箱ひげ図とデータの活用	1節 箱ひげ図	3				
	章末問題					

教科名	理科	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書「未来へひろがるサイエンス」2年生 啓林館 理科の完全学習(正進社) 観点別評価Wプリント(確認プリント付き)(新学社)				
理科の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。</li> <li>・授業で学習したことを基に、実験・観察においては、正確にそして安全に充分注意し、他者と協力しながら準備や片づけを協力してすることができる。</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的を持って実験・観察を行い、その結果について自分で科学的に考え、実験レポートに書き、発表することができる。</li> </ul>			
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心をもち、進んで授業に参加することができる。</li> <li>・理科に対して意欲をもって、積極的に実験・観察を行ったり、発表したり、先生の話や人の発表を聞いたり、ノートを書いたり、提出物の提出ができる。</li> </ul>			
学習の 進め方	授業 について	授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え・話し合うとき、聞くとき、書くときのけじめをつけよう。</li> <li>・板書を書くときは、後で見直しができるように、見出しをつけたり、色を変えたり、下線を引くなど工夫して書こう。</li> <li>・話し合いなどには、積極的に挙手をして発表しよう。</li> </ul>		
		実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験においては、常に危険が伴うことを理解し、安全面を考え、集中して取り組もう。</li> <li>・実験には必ず目的があるので、目的や手順などの意味をしっかりと確認しよう。</li> <li>・班のメンバーと協力し、実験を行うだけでなく、準備や片付けも素早く行おう。</li> <li>・実験を行う際には、結果をよく見て、自分なりの言葉でその結果からわかることを表現できるように心がけよう。</li> </ul>		
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題はテスト前にまとめてするのではなく、その日学習した内容については、その日のうちに家で復習に取り組もう。また、間違えたところは解説をしっかりと読み、教科書、ノートやプリントなどもきちんと確認をしよう。</li> <li>・小テストの予告があったときは、必ず事前に復習を行い、小テストに臨もう。</li> </ul>			
	定期 テ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークは1度だけでなく、何度も繰り返し取り組み、苦手なところを無くせるようにしよう。</li> <li>・間違えた問題は答えを写して終わりではなく、解説もしっかりと確認し、どうしてその答えになるのかを理解しておこう。</li> <li>・疑問に思うところは、そのままにせずに質問して解決しよう。</li> <li>・終わったテストの問題や解答も保管し、次は間違えないように見直しをしておこう。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業を大切に、集中して取り組む。また、積極的に参加する。</li> <li>・実験の結果や考察は自分の言葉で表現できるように心がける。</li> <li>・身の回りの自然や事物・現象を不思議だなという目で見、学習した内容と、身の回りの自然や事物・現象との関連を考えてみる。</li> <li>・実験は常に目的意識を持って取り組む。</li> </ul>				

理科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
生物の体のつくりと はたらき	生物の体をつくるもの	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念・原理・法則を理解している。</li> <li>・基礎知識が定着している。</li> <li>・実験・観察の操作や目的を理解している。</li> <li>・基本操作を習得している。</li> <li>・目的を把握し、実験結果をまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・ノート・ワークシート</li> <li>・実験中の様子(技能)</li> <li>・パフォーマンステスト(技能)</li> </ul>
	植物の体のつくりと はたらき	5			
	動物の体のつくりと はたらき				
	動物の行動のしくみ				
化学変化と原子・分子	物質の成り立ち	7	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見いだし、解決することができる。</li> <li>・実験観察結果・グラフ・表などを分析し、考察することができる。</li> <li>・仕組み・法則・要因などを推理し、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・振り返り</li> <li>・ノート・ワークシート</li> <li>・話し合いの様子</li> <li>・発表</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	物質の表し方	9			
	さまざまな化学変化				
	化学変化と物質の質量	10			
電流とその利用	電流の性質	11	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持ち、進んで学習に参加している。</li> <li>・学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。</li> <li>・まじめな態度で集中して取り組むことができる。</li> <li>・発表を進んですることができる。</li> <li>・忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> <li>・授業中の様子</li> <li>・振り返り</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	電流の正体				
	電流と磁界	12			
地球の大気と 天気の変化	地球をとり巻く 大気の様子	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持ち、進んで学習に参加している。</li> <li>・学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。</li> <li>・まじめな態度で集中して取り組むことができる。</li> <li>・発表を進んですることができる。</li> <li>・忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> <li>・授業中の様子</li> <li>・振り返り</li> <li>・観察・実験レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	大気中の水の変化	2			
	天気の変化と 大気の動き				
	大気の動きと 日本の四季	3			



教科名	音楽	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		教科書 中学生の音楽2(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社) 副教材 MY SONG(教育芸術社)			
音楽の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。</li> <li>・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけることができる。</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫生かすことができる。</li> <li>・音楽を幅広く主体的に鑑賞し、その良さや美しさを味わうことができる。</li> </ul>			
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。</li> </ul>			
学習の 進め方	授業 について	心 構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌う」ということは音楽の基本です。私たちは皆、「歌声」という自分だけの楽器を持っています。「歌声」が作りだす世界は、それぞれに違っています。それだからこそ、豊かな感動を響かせることができます。「歌声」は誰もが演奏を楽しめ、自分の思いを届けることのできる素敵な楽器です。音楽の時間には、みんなの「歌声」で感動を作り出すことを楽しみましょう。音楽はハートです。良い雰囲気の中で取り組めるよう、みんなで授業を作っていきます。</li> </ul>		
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックの名曲を楽しむ。日本の伝統音楽に親しむ。</li> <li>・世界各地の歌に触れる。</li> <li>・時代とともに変化するポピュラー音楽を聞いて、その特徴を味わう。</li> </ul>			
定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布されるテスト範囲表に書かれている教科書などのページやプリント類、授業中に学習したことをしっかり復習する。</li> </ul>				
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業準備物を忘れないようにしましょう。正しい服装で参加しましょう。</li> <li>・毎時間、「めあて」に対してどれぐらい達成できたかをふり返り、次の授業へ生かしていきましょう。</li> <li>・話をよく聞き授業に集中して参加しましょう。</li> <li>・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思い切り表現しましょう。</li> <li>・歌い合わせる楽しさ、ハーモニーの美しさ、みんなと音楽する喜びを味わいましょう。</li> <li>・鑑賞においては心を落ち着かせて聴きましょう。</li> </ul>				

音楽科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション 斉唱の楽しさ	授業の約束事を再確認 する 「翼をください」	4	知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・ふり返りシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・鑑賞の記録</li> </ul>
斉唱の楽しさ 日本の歌に親しもう	「メッセージ」 「夏の思い出」	5			
旋律の重なりを感じよう	「フーガ ト短調」	6			
クラスの歌声をつくろう	パート分け パート練習のスタート	7			
合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	9	思考力・ 判断力・ 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・ふり返りシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・鑑賞の記録</li> </ul>
		10			
オーケストラの響きを味わおう	「運命」	11			
鑑賞	名曲鑑賞	12			
舞台芸術に親しもう	「アイダ」 歌舞伎	1	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。</li> <li>・音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加状況 (活動の様子、忘れ物、提出物)</li> <li>・ふり返りシート</li> </ul>
心を込めて歌おう	卒業式歌	2			
		3			

教科名	美術	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		教科書 「美術2・3」(光村図書) 副読本 「美術資料」(秀学社)「レタリング字典」(秀学社)			
美術の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。</li> <li>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。</li> <li>・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見直しをもって表すこと。</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能美と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。</li> </ul>			
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。</li> </ul>			
学習の 進め方	授業 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二年生を発展期として、一年生で学んだことを生かしながら作品の制作を中心に学習をすすめます。日本の文化に関わる内容を中心に取り組んでいきます。引き続き、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を図り、振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。</li> <li>・鑑賞では、美術作品、文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べられたり文章で表現したりします。</li> <li>・豊かな表現を支えるためにユニバーサルデザインした色彩の学習をおこなうために配色カードを利用し色覚のちがいを色名で補います。</li> </ul>			
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作に必要な準備物を考えて用意したり、宿題を忘れずにしましょう。</li> <li>・アイデアスケッチ等をためてアイデアの引きだしにストックしておきましょう。</li> <li>・芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。</li> <li>・日頃より感性を磨き観察力を磨いておきましょう。</li> </ul>			
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容を中心に、ワークシート、資料集の知識技能など基礎基本について観点別の問題や総合問題を出題します。基本である共通項目からの問題や、鑑賞の学習では授業内容や背景や歴史など総合的に出題します。まとめや復習をしておきましょう。さらに美術用語や道具、技法なども出題します。</li> <li>・実技の出題があります。この場合事前にテーマが発表されるときもあります。その場合は練習やアイデアの準備をしておきましょう。持参物があるときも貸し借りはできません。注意してください。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。</li> <li>・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。</li> <li>・根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。</li> </ul>				

美術科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点	評価の場面・方法				
オリエンテーション 人物デッサン	授業の取り組み方 モデルを見てデッサン	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</li> <li>・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</li> <li>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・鑑賞のワークシート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			
油絵のような絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空想の世界</li> <li>・想像の生物</li> <li>・形と色の挑戦</li> </ul> からテーマを選択し油絵のような平面作品を描く	5						
		6						
		7						
夏休み宿題	ポスター制作							
自画像デッサン	鉛筆でしっかり自分を見つめて描く	9				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像したことをもとに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し心豊かに表現する構想を練っている。</li> <li>・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能美と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・作品</li> <li>・鑑賞のワークシート</li> <li>・定期テスト(実技課題)</li> </ul>
		10						
鑑賞	印象派とジャポニズム	11						
伊勢型紙	「自分の住んでいる地域」をモチーフに伊勢型紙	12						
		1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での様子</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>			
		2						
鑑賞	日本の美術	3						

※授業の制作進度などによっては 内容が変更になる場合もあります。

教科名	保健体育	週時数	3 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	教科書「中学保健体育」(学研) 副教材「中学体育実技」(学研) 「保体資料ノート」(正進社)				
保健体育の 学習で 目指すこと	知識・技能	運動の基本技術・体力を身につける。 運動・体力の必要性を理解する。 運動の健康・安全の確保の仕方を考え、実行する。 健康・安全について、理解し、健康に生活する力と知識を身につける。			
	思考力 判断力 表現力	自分や仲間の課題を発見することができる。 課題解決の方法を具体的に考え、合理的に判断することができる。 課題や解決方法を「ことば」で伝えることができる。			
	主体的に 学習に取り組む 態度	運動を通して、公正・協力・責任・共生を積極的に身につけようとしている。 ※公正…正当なこと ※共生…体力や技能の違いを認め合い、そして、補い合うこと 健康・安全に留意して、運動に積極的に取り組んでいる。 自分や仲間の健康についての学習に積極的に取り組んでいる。			
学習の 進め方	授業 について	体育分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の安全(用具や服装、身なり、ルールなど)に注意して、運動を行いましょう。</li> <li>・仲間と協力し、色々な運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。</li> <li>・準備運動やトレーニングを毎時しっかり取り組みましょう。</li> <li>・自己の能力を向上することを目指しましょう。</li> </ul>		
		保健分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康・安全に興味を持ち、積極的に授業に参加しましょう。</li> <li>・健康の保持増進や回復についての知識を身につけていきましょう。</li> </ul>		
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送りましょう。</li> <li>・三度の食事を必ず取りましょう。特に朝食は1日のエネルギーです。</li> <li>・毎日、自ら決めた「運動」を継続していきましょう。</li> </ul>			
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各運動のルールや基礎知識・用語を理解しましょう。</li> <li>・授業中に経験した運動を「ことば」で説明できるようにしましょう。</li> <li>・健康についての基礎知識・用語を理解しましょう。</li> <li>・自他の「健康」を維持することの大切さを理解し、保持増進させる方法、回復の方法を「ことば」で説明できるようにしましょう。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できる」「できない」で判断するのではなく、「やる」「やらない」の取り組みで、「やってみる」のチャレンジ精神を持とう。</li> <li>・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組もう。</li> <li>・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしないようにしよう。</li> <li>・指示をよく聞いて仲間と協力して、安全に活動しよう。</li> <li>・効果的で安全な活動を行うために、基本的な事柄(服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど)に注意し取り組もう。</li> </ul>				

保健体育科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
ガイダンス	授業の受け方・評価	4	知識・技能	<p>【体育分野】</p> <p>○知識</p> <p>・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>○技能</p> <p>・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。</p> <p>【保健分野】</p> <p>○知識</p> <p>・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>
体づくり運動	平田野エクササイズ	4		
	ストレッチ体操			
	補強運動			
	柔軟体操・集団行動			
新体力テスト	50m・ハンドボール投げ	5		
	持久走			
	握力・反復横跳び			
	立ち幅跳び			
陸上競技	ルール・安全	6		
	短距離			
	リレー			
器械運動 (マット運動)	前転・後転・開脚前転	7		
	開脚後転・倒立前転			
水泳	水慣れ	7		
	バタ足			
	クロール			
保健	健康な生活と病気の予防			
陸上競技	ルール・安全	9	思考力・判断力・表現力	<p>【体育分野】</p> <p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。</p> <p>・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。</p>
	走り幅跳び			
	走り高跳び			
体育理論	文化としてのスポーツの意義			
保健	健康な生活と病気の予防			
球技 (バレーボール)	ルール・パス	10		
	サーブ・ラリー			
	ゲーム			
球技 (ソフトボール)	ルール・キャッチボール	11		
	バッティング			
	ゲーム			
陸上競技	持久走	12		
	走法			
	心の鍛錬			
球技 (ラケット競技)	基本の動き	1	主体的に学習に取り組む態度	<p>【体育分野】</p> <p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>【保健分野】</p> <p>・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
	ラリー			
	攻防・ゲーム・運営			
保健	傷害の防止	1		
球技 (サッカー)	基本技能の向上	2		
	ゲーム			
	戦術・作戦計画			
球技 (バスケ)	基本技能の向上	3		
	ゲーム			
	戦術・作戦計画			

教科名	技術	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		教育図書 技術・家庭科技術分野			
技術の学習で 目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等や原理・原則を理解する</li> <li>・電気、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組みや保守点検の必要性について理解する。</li> <li>・工具の安全かつ適切な使用方法を知り、加工することができる</li> <li>・適切な製図方法を知り、設計図をかくことができる</li> <li>・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる</li> </ul>			
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題から課題を設定し、解決するための育成計画を立てることができる。</li> <li>・植物や動物の特徴を踏まえた上で育成環境の調整方法や育成過程を具体化することができる。</li> <li>・電気回路の構造を理解し、適切に具体化することができる。</li> <li>・育成の過程や結果について、評価し、改善方法を考えることができる。</li> <li>・製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える</li> </ul>			
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等を理解して振り返りつつ学習を進めようとしている。</li> <li>・育成過程を観察しながら自己評価し、育成方法を改善し、運用しようとしている。</li> <li>・課題を解決するための構想や育成計画、環境管理の方法について試行錯誤している。</li> <li>・課題を解決するための構想や設計図について試行錯誤している。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えることができる。</li> </ul>			
学習の 進め方	授業 について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習や技術に関する調査を行う際は、コンピュータを必ず使用します。タイピングの練習等を行い、検索することができるようにしておきましょう。</li> <li>・問題を解決するために、粘り強く考えるようにしましょう。よりよい技術を考えるためには、課題を設定し、試行錯誤することが必要です。</li> <li>・ワークシートをもとに授業を進めます。</li> </ul>		
		製作学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決するための設計が具現化する製作学習となります。構想や設計と異なる部分が出ることもありますが、改善点を考えながら製作をしましょう。</li> <li>・製作(育成、制作)したものについて、自己評価や他者評価を受け、よりよいものに改善できるようにしましょう。</li> <li>・問題を解決するための方法については、適切に公開するとともに、他者の解決方法を参考にすることは、適切に行いましょう。</li> <li>・製作(育成、制作)においては、工具や機器は安全に配慮して使用するようにしましょう。</li> </ul>		
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容について、身の回りの技術や植物の生育について観察し、どのような工夫・改善点があるかを考えてください。授業における問題を解決するための思考が向上します。</li> </ul>			
	定期 テ スト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。</li> <li>・問題を解決するために授業で考えたことを問う問題が出題されることもありますので、授業で学習した内容を振り返っておく必要があります。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作学習においては、服装や髪型に注意しましょう。</li> <li>・製作学習においては、作業工程や必要な工具等を考慮し、安全に行いましょう。</li> <li>・作業後の片付けや掃除については自主的に行いましょう。</li> <li>・コンピュータの利用については、情報モラルに配慮し、適切に活用しましょう。</li> </ul>				

## 技術科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
B生物育成の技術	既存の技術の調査	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法を知る。</li> <li>・工具の安全かつ適切な使用方法を知る。</li> <li>・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について知る。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。</li> <li>・工具を安全かつ適切に使用し、正確に回路が製作できる。</li> <li>・回路図の記述方法を知り、適切な回路図をかくことができる。</li> <li>・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術の仕組みを理解する。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストや定期テスト</li> <li>・技能テスト(工具の適切な活用、製図の方法、製図、プログラミングなど)</li> </ul>
	栽培計画と栽培実習	5			
	栽培結果の評価	6			
	栽培結果の評価	7			
Cエネルギー変換の技術	既存の技術の調査	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題から課題を設定し、解決するための育成計画を立てることができる。例えば、収量や品質、環境に対する負荷を考慮した上で栽培計画を立てる。</li> <li>・電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化することができる。例えば、課題に応じて負荷を選択したり、必要な回路をかくことができる。</li> <li>・製作の過程や製作物について、評価し、改善方法を考えることができる。例えば、栽培計画やエネルギー製品の計画について環境面、経済面、安全面について振り返り、評価することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想図や設計図に関するワークシート</li> <li>・製作(制作)の過程や製作(制作)物の評価に関するワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>
	発電・送電・配電に関する技術	10			
	電気回路に関する技術	11			
	評価	12			
Cエネルギー変換の技術	回路設計・実験・製作	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物育成やエネルギー変換に関する基礎的な技術を理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。</li> <li>・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術について、理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。</li> <li>・問題を解決するために、設計を何度も考え直しながら試行錯誤し、問題解決のための最適解を導き出そうとしている。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えて、技術の活かし方について提言することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・知識、技能に関する学習の様子(観察)</li> <li>・設計に関する思考錯誤の様子(観察、ワークシート)</li> <li>・技術の活かし方に関する考えや提言のワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>
		2			
		3			
	評価				



教科名	家庭	週時数	1 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材		教科書 New 技術・家庭 家庭分野 教育図書			
家庭の学習で 目指すこと	知識・技能	家族・家庭の機能についてふかく理解できている。 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食などについて理解しているとともに、技能を身に付けている。			
	思考力 判断力 表現力	安心・安全な生活を送るために課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けている。 食品や衣服などの選択について考え工夫している。			
	主体的に 学習に取り組む 態度	主体的に学習を進め、習得したことを生活に活かすことができる。 よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。			
学習の 進め方	授業 について	一斉 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の持ち物を忘れないようにしましょう。</li> <li>・発問に対して、自分の生活の中から知っていることを考えましょう。</li> <li>・ワークシートに自分の考えを記入し、ファイルに綴じましょう。</li> <li>・「資料」や「図」を読み取りましょう。</li> <li>・実生活と結び付け、課題を見つけていきましょう。</li> </ul>		
		作業 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業や実習に必要な準備物を忘れないようにしましょう。</li> <li>・作業内容を確認し、安全に作業しましょう。</li> <li>・難しい作業などは家で練習しましょう。</li> <li>・作業や実習の反省や振り返りは、課題を見つけ、課題を解決するための方法などをたくさん書きましょう。</li> </ul>		
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習したことを家庭で練習したり、手伝いとして実践したりしましょう。</li> </ul>			
	定期 テ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やワークシートをよく読んで覚えましょう。</li> <li>・実習のプリントや授業プリントを確認しておきましょう。</li> <li>・「図」や「表」を読み取りましょう。</li> <li>・学習した内容を自分の生活の中で振り返り、自分なりの意見を書けるようにしましょう。</li> <li>・作業や実習の反省や気付いたことなどはメモをとるなどして覚えておきましょう。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。</li> <li>・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。</li> <li>・後で見やすいようにワークシートに記入しましょう。</li> <li>・プリント類は順番通りに綴じましょう。</li> <li>・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。</li> </ul>				

家庭科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
幼児の生活と家族	幼いころを振り返ろう	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の生活や発達が分かり、家族の役割について理解している。</li> <li>・幼児にとっての遊びの意義が分かり、幼児との関わり方を理解している。</li> <li>・用途に応じた食品の選択について理解し、適切に選ぶことができる。</li> <li>・安全と衛生を考え、基礎的な日常食の調理ができる。</li> <li>・地域の食文化について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・相互評価</li> </ul>
	幼児の一日を知る				
	幼児の体の発達	5			
	幼児の心の発達				
	幼児の生活習慣の習得				
	幼児との関わり方	6			
	幼児とのふれあい				
子どもにとっての家族	7				
家庭や家族の機能					
中学生としての自立					
家庭生活と地域とのかか					
献立作りと食品の選択	生鮮食品の特徴	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児とのより良い関わり方について考え、工夫して触れ合うことができる。</li> <li>・状況を考えより良い食品の選択ができる。</li> <li>・調理計画を考え実践し、評価・改善することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	生鮮食品の調理				
	お弁当について	10			
	加工食品の特徴				
	食品の選択と購入	11			
	肉の特徴				
	肉の調理	12			
魚の特徴	1				
魚の調理					
地域の食文化	2	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に実習に参加しようとしている。</li> <li>・日常食と地域の食文化について、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・幼児の生活を通し、自分の幼い頃を振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・授業中の発言</li> <li>・振り返り</li> </ul>	
地域の食材を知ろう					
調理実習	3				

教科名	英語	週時数	4 時間	学年	2 年生
使用教科書及び副教材	「NEW HORIZON English Course 2」(東京書籍), EIGO NO PARTNER(正進社), 書きこみノート(正進社), テストっち(正進社), 英語ワークノート(新学社)				
英語の学習で 目指すこと	知識・技能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。</li> <li>2. 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。</li> <li>3. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>4. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。</li> <li>5. 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。</li> </ol>			
	思考力 判断力 表現力				
	主体的に 学習に取り組む 態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。</li> <li>2. 相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>3. 日常的话题を、さまざまな工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。</li> </ol>			
学習の 進め方	授業 について	<p>【授業前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の授業が終わったときに、授業準備をしましょう。</li> <li>・メロディーで着席し、前回の内容や宿題を見直しましょう。</li> </ul> <p>【授業中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を理解する努力をしましょう。</li> <li>・友達や先生の話聞く姿勢にも気をつけましょう。</li> <li>・英語のリズムやイントネーションに慣れましょう。</li> <li>・ノートやプリントに、黒板の内容を丁寧に書き写しましょう。</li> <li>・単語や英文は、根気強く音読しながら書く練習をしましょう。</li> <li>・教科書や単語、Key Sentenceの音読には大きな声で取り組みましょう。</li> <li>・とくに授業中には、積極的に英語をたくさん使うことに挑戦しましょう。</li> <li>・先生や友達の話す英語、CDの音声など、聞くべきところはしっかり聞きましょう。</li> <li>・グループワーク、ペアワーク、ALTの先生との会話、発表などを積極的にしましょう。</li> </ul> <p>【授業後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で習ったことは、その日のうちにワークで復習しましょう。</li> <li>・分からないことがあるときは、その日のうちに質問しましょう。</li> </ul>			
	家庭 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現に向けて、予習・復習、宿題をしっかりとしましょう。</li> <li>・授業で学習した本文や単語は、家でも音読練習をしましょう。</li> <li>・ワークやまとめのプリントをしたり、授業で使ったプリントを利用したりして、知識の定着を図りましょう。</li> </ul>			
	定期 テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱った基本文や重要表現を英語で書けるようにしましょう。</li> <li>・授業中にチェックした本文は書けるようにしておきましょう。</li> <li>・ワークやプリント、授業で取り組んだ問題は何回もやり直しましょう。</li> <li>・ALTの先生と一緒に勉強したプリントの英文を書けるようにしておきましょう。</li> </ul>			
学習上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からないことがあれば先生や友達に聞いて、疑問点を解決していきましょう。</li> <li>・提出物は提出期限までにしっかりと取り組み、忘れず提出しましょう。もし忘れたときは申し出てください。</li> <li>・英語を使える場面では間違いを恐れず英語を使いましょう。「伝えたい」という気持ちを大切にしましょう。</li> </ul>				

英語科 2年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
Unit 0	My Spring Vacation	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。</li> <li>・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。</li> <li>・自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。</li> <li>・好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。</li> <li>・習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。</li> <li>・身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。</li> <li>・身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。</li> <li>・クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。</li> <li>・各地の世界遺産を紹介することができる。</li> </ul>
Unit 1	A Trip to Singapore	5		
Unit 2	Food Travels around the World	6		
Unit 3	My Future Job	7	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の言語活動の取り組み状況</li> <li>・Unit Activity の活動で使用したワークシートやノートの理解度や取り組み状況</li> <li>・本文の音読</li> <li>・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト(中間・期末)</li> <li>・やり取りのパフォーマンステスト</li> </ul>
Stage Activity 1	A Message to Myself in the Future	9		
Unit 4	Homestay in the United States	10		
Unit 5	Universal Design	11	主体的に学習に取り組む態度	<p>【聞くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p> <p>【読むこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p>【話すこと[やり取り]】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>【話すこと[発表]】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>【書くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
Unit 6	Research Your Topic	12		
Stage Activity 2	Research and Presentation	1		
Unit 7	World Heritage Sites	2		
Stage Activity 3	My Favorite Place in Our Town	3		